



2018/06/09

43号線橋梁下埋め戻して今期工事終了？



2018/06/09

阪神橋梁上流側でテナガエビ釣り始まる。



2018/06/21

締め切り堤撤去、砂州は残り左右に別れた流れて洗屈が心配



2018/06/21

復旧工事後の新幹線橋梁右岸側。



2018/06/21

流れが集中する新幹線橋梁左岸側護岸側



2018/06/21

甲子園浜のマイクロプラスチックゴミ

43号線橋梁下の工事も終わり、元の形とは少し変わったが拡幅されることなく埋め戻して今期の工事は終わった。次の工事期間に入る12月頃から阪神高速橋梁補強工事が始まるのだろう。南部橋でも「6月中頃から工事に伴い片側通行になる」と立て看板が立っていた。河口から潮止め堰間の拡幅工事がほぼ終わり、阪神高速橋梁補強・南部橋架け替えが終わると、いよいよ潮止め堰撤去に掛かる事と思う。そうすると川の環境が大きく変わる事になり、当分の間目が離せなくなる。

新幹線橋梁右岸側護岸復旧工事に伴い6号堰下流側で流れを左岸側に寄せる締め切り堤が撤去されたが、中央部の砂州は残されたままで、左右に分かれた流れが復旧工事後の護岸を洗屈する事にならないか心配になる。ハンディーGPSを持って砂州周辺を歩いて測量した結果では復旧前後の砂州の形は殆ど変わらず、川岸から私の作業を眺めていたオバサンが「こんだけ砂州が高くなったら洪水が心配になる」と心配していた。

最後は甲子園浜のマイクロプラスチックの漂着状況で武庫川から流れ着いた物も多いことと思う。